授業科目名 【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
関係法規 【必修科目】	21期1学年	20	井上　慎一郎 (外部講師) 【なし】	行政書士 大学・大学院で法律を学んだ後、官公署や士業事務所での勤務経験を生かし、 行政書士として熊本市を中心に許認可申請業務・事業運営支援その他行政手続きのサポートを行う。

【授業概要】	・美容師になろうとする人の為に必要な関係法規・制度を解説。 ・社会における法の役割、法と国家の関係、法の種類及び衛生法規について学ぶ。 ・国と地方の行政の関係、衛生行政及び保健所について学ぶ。 ・美容師法について学ぶ。
【講義の目的】	美容師法を中心とした関係法規の理解 国家試験合格に必要な知識習得

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
2学期	9月	2 講義	法制度の概要	社会の様々な法律を学ぶ。法律の必要性。 社会生活における法の役割を学ぶ。	社会生活における 法制度の役割を認識する ことを到達目標とする
		2 講義	衛生行政の概要	法治国家である我が国で具体的にどのように運用され、 衛生行政が行われているか学習する。 衛生行政の意義と歴史、分類と内容。 衛生行政の国と地方公共団体での担われ方。 保健所の役割と機構についてを学ぶ。	到達度小テスト70％基準 以上であること 解答解説により重要箇所を 理解する
	9～11月	4 講義	美容師法 (美容師、美容室の規定)解説	理容師法・美容師法を理解する。 法による規制の中心になる人(理容師・美容師)、施設(理容所・美容所)について 立入検査と環境衛生監視員について 違反者等に対する行政処分、罰則について	社会生活における美容師法の 役割を認識することを 到達目標とする
	11月	2 講義	美容師法定義	理容師法、美容師法を学ぶ。適正な理容美容の業務とは何かを学ぶ。 重要な条文の理解を深める。	定義を理解することを 到達目標とする 各章小テスト70％の 正答率を目標とする
3学期	1月	2 講義	美容師法定義	理容師法、美容師法を学ぶ。適正な理容美容の業務とは何かを学ぶ。 重要な条文の理解を深める。	定義を理解することを 到達目標とする 各章小テスト70％の 正答率を目標とする
	1～2月	8 講義	行政処分、罰則、関連法規、 衛生法、解説 ワーク問題、チャート図、 解答、解説	理容師法、美容師法以外の法律を学ぶ。 美容業界に関連する法律を学ぶ ワークブックの回答解説、チャート図等を利用し理解を深める。	社会生活における美容師法の 役割を認識することを 到達目標とする ワークブック正答率70％を 目標とする

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・関係法規教科書(日本理容美容教育センター発行)　・ワークブック ・適宜プリント配布
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
衛生管理 【必修科目】	21期1学年	50	宮田　千佳 【有り】	カラーリストとしてサロンに6年の実務経験。 ヘアケアマイスター取得。 (公社)日本理容美容教育センター主催 保健・衛生管理研修課程修了

【授業概要】	・美容業においての公衆衛生の向上の為の知識習得。 ・環境衛生についての知識修得。
【講義の目的】	美容業務と関係ある個人衛生に関心を払い、公衆衛生を理解し感染症等の予防を学習し理解する。

【授業計画】

期間		時間数 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	2 講義	1編　公衆衛生 (公衆衛生の意義と課題　保健所)	公衆衛生の歴史は美容師にとって重要であり、公衆衛生の第一線機関としての役割を担う保健所の機能について学ぶ。接客においてのリスクを考える。	社会生活における感染症等の知識理解度を到達目標とする
		4 講義	母子保健 (成人、高齢者保健 精神保健)	健康を保持するために国などが創設している公衆衛生制度である保健の基礎知識(平均寿命や死亡率、生活習慣病等)を学ぶ。 平均寿命の延びに伴うサロン現状を考える。	保健制度に関する事項が日常の中で必要であることを認識することを到達目標とする
		1 講義	1編の復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。小テスト。 特に健康の持つ意味としての”肉体的・精神的・社会的”の意味の理解度を確認する。	公衆衛生における感染症等の予防知識理解度を到達目標とする
	5月	4 講義	2編　環境衛生 (空気環境、衣服、住居の衛生、上下水道と廃棄物、衛生害虫、環境保全)	公衆衛生のもつ大義としての”住民の健康”を守ることを中心に以下展開する。 ①環境が自然や人々の健康に及ぼす影響を知り、社会の一員として適切に行動できるよう学ぶ。 ②美容室での廃棄物の処理の現状を担当教員のサロンでの経験を交えながら学習する。 ③衛生害虫では身近な頭ジラミを発見した時等の対応を担当教員のサロン経験を基に学習する。	環境衛生に関する事項が日常の中で必要であることを認識することを到達目標とする また自然との調和がいかに大切かを知る
	6月	2 講義	2編の復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。小テスト。 特に健康の持つ意味としての”肉体的・精神的・社会的”の意味の理解度を確認する。	環境衛生に関する事項が日常の中で必要であることを認識することを到達目標とする
	6～7月	10 講義	1編と2編の復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。小テスト。 特に健康の持つ意味としての”肉体的・精神的・社会的”の意味の理解度を確認する。	復習として社会生活における感染症等の知識理解度を到達目標とする 各章小テスト70%の正答率を目標とする
2学期	9月、10月	3 講義	3編　感染症 (人と感染症病原微生物)	衛生上の危害を防止するだけの知識技能を持つために、感染症についての的確な知識、技能を学ぶ。	公衆衛生における感染症等の予防知識理解度を到達目標とする 各章小テスト70%の正答率を目標とする
	10月、11月	3 講義	3編　感染症 (感染症の予防)	微生物の病原性と人体の感受性の相互関係と汚染、感染、発病の経過を学ぶ。 また、予防接種の効果や感染症の発生の要因と対策についても学ぶ。 サロンにおける目に見えない感染症についての考え方を学ぶ。	
		7 講義	3編　感染症の復習	WHOの定義と美容における役割を考えまとめる。 国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ小テスト	
	12月	3 講義	1編、2編の復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。 サロンと直結する衛生管理についてリスト化し、最重要部分を再度検証する。 小テスト	
3学期	1月、2月	6 講義	3編　感染症 (感染症の各論)	代表的な感染症について、病原体、感染源、感染経路、症状、予防対策などを学ぶ。 担当教員のサロン経験を基に接客時の感染症予防策を学習する。	
	2月	1 講義	3編　感染症の復習	WHOの定義と美容における役割を考えまとめる。 国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ小テスト	復習として社会生活における感染症等及び健康に関わる全般の知識理解度を到達目標とする 各章小テスト70%の正答率を目標とする
		2 講義	1編、2編の復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。 サロンと直結する衛生管理についてリスト化し、最重要部分を再度検証する。 小テスト	
		2 講義	1～3編の復習	国家試験に出題されやすい個所、をより詳しく学ぶ。総復習　個別指導	

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・衛生管理教科書(日本理容美容教育センター発行) ・ワークブック ・各章まとめプリント　模擬問題プリント
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
美容保健 【必修科目】	21期1学年	50	宮田千佳 【有り】	カラーリストとしてサロンに6年の実務経験。 ヘアケアマイスター取得。 (公社)日本理容美容教育センター主催 保健・衛生管理研修課程修了

【授業概要】	・毛髪・爪・肌の基本理論を習得し、その根本的である人体の構造・機能・皮膚・付属器官・役割の知識を高め容姿だけではなく、心身ともに健康を目指す。
【講義の目的】	毛髪・爪・肌の基本理論を習得。健全な心身の育成。国家試験合格

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	2 講義	1編　人体の構造及び機能 1章　頭部、顔部、頸部の 体表解剖学	頭部、顔部、頸部の名称や基準的について学ぶ。 多種多様な人体の構造を知ることで社会生活における適応力を身に付ける。	社会生活での美容保健の 果たすべき役割を認識しているか を到達目標とする
		2 講義	2章　骨格器系	骨の働きと名称について学ぶ。	可動域及び名称について 理解することを到達目標とする
		2 講義	3章　筋系	筋の構造と名称について学ぶ。　筋や神経は美容師の姿勢で痛めやすい場所なので担当教員の実体験を交えながら学習する。	筋系働き及び名称について 理解することを到達目標とする
	4～5月	2 講義	4章　神経系	脳の働きと構造、自律神経と体性神経について学ぶ。	脳系神経系役割及び名称について理解することを到達目標とする
	5月	1 講義	5章　感覚器系	五感とその他の感覚について学ぶ。	感覚の持つ役割及び名称について理解することを到達目標とする
		3 講義	6章　循環器系	血液の成分、心臓、循環、リンパ等について学ぶ。担当教員の実務経験によるリンパマッサージをデモンストレーションで学習しその効果を体感する。	血液リンパの役割及び名称について 理解することを到達目標とする
	5～6月	2 講義	1～6章の復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。小テスト　個別指導	小テストの70%の正答率 を目標とする
	6月	2 講義	7章　呼吸器系	肺の仕組みと気道を学ぶ。	呼吸器系の役割及び名称について理解することを到達目標とする
		2 講義	8章　消化器系	食物と栄養、消化管を学ぶ	消化器系役割及び名称について 理解することを到達目標とする
	7月	6 講義	1編の復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。小テスト　個別指導	小テストの70%の正答率 を目標とする
2学期	10月	3 講義	2編　皮膚科学 1章　皮膚の構造	美容と関わりの深い皮膚の構造や、働きについて学ぶ。	皮膚疾患について理解をする ことで社会生活における健康を 意識することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上 であること
		2 講義	2章 皮膚　付属器官の構造	脂腺、汗腺、毛、爪、の働きについて学ぶ。	
	11月	1 講義	3章 皮膚の循環器系と神経系	皮膚の物質代謝を行うリンパ管や、血管について学ぶ。	
		2 講義	4章 皮膚と付属器官の生理機能	皮膚の作用や、毛、爪の働きについて学ぶ。サロンメイクの経験から考えられる、肌のトラブルを中心に日常知っておくべきケアを学ぶ。 年齢からくるトラブルをサロンでの経験から解決方法や予防のための対策を学ぶ。	
		2 講義	5章 皮膚と付属器官の保健	皮膚と爪や毛を健康に保つためのケア等について学ぶ。 メイク用品やサンケア用品、マニキュアについて学ぶ。	
		3 講義	1～5章の復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。小テスト　個別指導	小テストの70%の正答率 を目標とする
3学期	1～2月	6 講義	6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚と付属器官の疾患について学ぶ。実際に美容室で皮膚疾患を発見した時の対応を担当教員の実務経験を基に学ぶ。 またカラー剤でのかぶれの実態やパッチテストのやり方も学び知識をつける。 ネイルの見た目の美しさだけではなく、人体への影響についてサロンの実際のありうる事案を想定し学ぶ。	皮膚関連組織について 理解をすることで社会生活に おける健康を意識することを 到達目標とする 到達度小テスト70% 基準以上であること
	2月	2 講義	2編 皮膚科学の総復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。小テスト　個別指導	化学的見地から皮膚関連組織を 中心として理解をした上で 社会生活における健康を意識 することを到達目標とする 到達度小テスト70% 基準以上であること
		5 講義	1編　2編の総復習	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。小テスト　個別指導	

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・美容保健教科書(日本理容美容教育センター発行)　・ワークブック ・各章まとめプリント ・模擬問題
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
香粧品化学 【必修科目】	21期1学年	40	東　いづみ 【有り】	ブライダリストとしてホテル日航熊本に4年勤務。 現在も現役ブライダリストとして現場に立つ。 日本化粧品検定1級取得。ヘアケアマイスター取得。 (公社)日本理容美容教育センター主催　美容技術理論・美容実習研修課程修了

【授業概要】	・美容の技術を行う際器具と同様に、多用する香粧品の原料、基礎を学ぶことで人体に安全に使用できるよう学ぶ。 ・香粧品の種類や使用料はその国や地域の平和と文化のバロメーターという事を理解する。
【講義の目的】	基礎学問の学習を通じて身の回りにある物質や現象を科学的に理解する。将来の仕事に活用する想像力を培う。

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	2 講義	香粧品概論1	香粧品の必要条件、製造販売の理解	製品と原料についての知識を 持つことによりさらに成分管理の 大切さを理解できることを 到達目標とする 到達度小テスト70% 基準以上であること
		2 講義	香粧品概論2	香粧品の品質規制等の理解	
		1 講義	香粧品概論3	香粧品の取り扱い、使用上の注意等の理解	
		1 講義	香粧品原料1	水性原料と油性原料の特性と使用目的による違い 小テスト	普段使用しているものの中に 香粧品原料医薬部外品と 化粧品があるという認識する。 それが生活の中において安全に 香粧品を使用する観点から 重要であることを認識する ことを到達目標とする 到達度小テスト70% 基準以上であること
	5月	1 講義	香粧品原料2	油脂について	
		1 講義	香粧品原料3	ロウ類について	
		1 講義	香粧品原料4	炭化水素、その他の油性原料について	
		2 講義	界面活性剤1	成分の特徴・役割についての理解 小テスト	界面活性剤の普段使用している 物の中に医薬部外品と化粧品が あるという認識する。 それが生活の中において 安全に香粧品を使用する観点から 重要であることを認識すること を到達目標とする 到達度小テスト70% 基準以上であること
	6月	2 講義	界面活性剤2	基本的性質について	
	7月	2 講義	界面活性剤3	種類について	
		2 講義	界面活性剤4	香粧品への対応について国家試験で高確率で出題されるので特に重要視する。	
2学期	9月	2 講義	高分子化合物1	種類と特性について 小テスト	普段使用しているものの中に 医薬部外品と化粧品がある という認識する。 それが生活の中において安全に 香粧品を使用する観点から 重要であることを認識する ことを到達目標とする 到達度小テスト70% 基準以上であること
		2 講義	高分子化合物2	香粧品への対応について	
	10月	2 講義	色材1	色材と香粧品の関係について 小テスト	色材の実際に何を用いてどう なったのか、また成分について 考え安全に使用するために 用途用法を理解することを 到達目標とする。
		1 講義	色材2	色材の必要性について	
	11月	1 講義	香料1	香料と化粧品について 小テスト	香料の実際に何を用いて どうなったのか、また成分について 考え安全に使用するために 用途用法を理解することを 到達目標とする
		1 講義	香料2	香料の種類調合香料について	
		3 講義	1回～17回総まとめ	まとめ 総合理解力テスト	総合理解力テスト70% の正答率を目標とする
3学期	1月	2 講義	基礎香粧品1	皮膚洗浄用香粧品について	生活の中において安全に 香粧品を使用する観点から 重要であることを認識する ことを到達目標とする。 到達度小テスト70% 基準以上であること
		2 講義	基礎香粧品2	皮膚の汚れと清浄作用・石けんの種類とその性質について マイクロスコープを使用し香粧品における皮膚洗浄等の検証をする。	
		2 講義	基礎香粧品3	製品としての香粧品と成分との関係・その他の清浄剤について	
	2月	2 講義	メイクアップ用香粧品1	メイクアップ用香粧品の種類と剤型について 小テスト	総合理解力テスト。70%の正答率を目 標とする。
		2 講義	メイクアップ用香粧品2	メイクアップ化粧品について	

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・香粧品化学教科書(日本理容美容教育センター発行)　・ワークブック ・適宜プリント配布
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
文化論 【必修科目】	21期1学年	40	田中　謙二郎 【有り】	サロン勤務38年の実務、美容室経営経験 現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA　TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催 文化論・運営管理研修課程修了

【授業概要】	理容・美容の語義の理解と日本の理容・美容業の歴史、及び日本のファッション文化史を学ぶ
【講義の目的】	時代と共に変遷流行する、髪型、化粧、服装を学び理解する。 国家試験合格

【授業計画】

期間		時間数・授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	4 講義	総論	美容、美しさ、等の言葉の理解。化粧の美容との関わりについて考える。 美容全般における時代の変化について形だけではなく、見方、感じ方から その変化を学び現代の美容を考察する。特に日本史に趣を置く。	到達度小テスト70%基準以上 であること常識的内容が理解 できることを到達目標とする
		2 講義	日本の理容・美容の歴史	髪結い床の誕生から女か美祐の登場、幕府の弾圧と抵抗の時代を学ぶ。 理容師法美容師法の制定から現在までの流れ。大正時代を学ぶ。 理容、美容学校が開校された経緯を学ぶ。	その時代背景を含め時系列で 理解することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上 であること
	5月	2 講義	ファッション文化史　日本編 縄文　弥生　古墳時代　古代 (飛鳥、奈良、平安時代)	縄文、弥生、古墳時代～紀元前1万年前後から紀元7世紀頃、髪型や服装は 土偶や埴輪「魏志倭人伝」「万葉集」から推測されたことを学ぶ。 古代では中国との交流により大陸文化が導入されその強い影響を 受けてきたことを学ぶ。	
	6月	3 講義	中世(平安末　鎌倉　室町　戦 国時代)	平安中期には唐風の影響から脱し、国風文化が形成される。 その時代の服装も学ぶ。鎌倉以降の文化の変化を学ぶ。	
		3 講義	近世Ⅰ(戦国末　安土桃山時代) 近世Ⅱ(江戸時代)	戦乱の時代から新興勢力による時代を学ぶ。この時代の、化粧、髪型、衣服の変化はファ ストファッションにも共通した変化がみられることを学ぶ。	
	7月	3 講義	近世Ⅱ(江戸時代)	江戸時代。身分の区別による髪型の違い。※身分とヘアスタイルについては現代の考えと 共通するものがあり、そこから学ぶべきアイディアがあることを学ぶ。 同様に江戸時代の化粧、衣服についても学ぶ。	さらに図書及び映像資料にて その時代背景を含め時系列で 理解することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準以上 であること
		2 講義	近世 (明治・大正・昭和20年まで)	江戸幕府倒幕後の新政府による西欧流の近世国家への改革。 髪型、化粧、多用に変化したファッション洋服の登場を学ぶ。	
2学期	9月	2 講義	現代Ⅰ(1945年～1950年代)	第二次世界大戦後の時代の変化。日本的美意識の変化。 理容師、美容師の求められる役割等を学びます。	
		3 講義	現代Ⅱ(1960～1970年代)	高度経済成長期の日本。男女民族のボーダレス化。 理容師、美容師のアドバイザーとしての役割について学びます。	
	10月	4 講義	現代Ⅲ(1980～1990年代)	1985年男女雇用機会均等法の制定による女性の社会進出の時代。時代に伴う社会変化 をサロン経験を基に東京・熊本との類似点や相違点を探る学習をする。	
	11月	2 講義	現代Ⅳ(2000年代以降)	現代Ⅲに増してボーダーレス化が進みアスリートの影響を強く受ける時代。 現場経験により学んだネイリストやアイリスト等新しい美容のジャンルの 職業誕生の経緯を学ぶ。	イッセイミヤケが発表した衣装をもとに古 代エジプトギリシャとの共通点を到達目 標とする。またウクライナ　キエフバレエ 団(白鳥の湖)映像資料にその時代背 景を含め時系列で理解することを到達 目標とする　到達度小テスト70%基準以 上であること
3学期	1月	3 講義	古代エジプト ギリシャ　ローマ	古代エジプト文化を学ぶ。古代ギリシャ・ローマ時代。 時代背景やファッションの誕生を学ぶ。その時代の発想で作られた60年代の 衣服を基になぜ歴史とファッションが繋がるのかを考察する。	
	2月	2 講義	古代ゲルマン 中世ヨーロッパ　近世16世紀	古代ゲルマン、中世ヨーロッパ、近世16世紀の時代。時代に影響を受けた ファッションやスタイルを学ぶ。※パンツルックにおけるルーツである ゲルマンの現代につながる発想力等を考察する。	
		2 講義	近世Ⅱ　Ⅲ (17・18世紀)	18世紀のフランスでの貴族のファッション、文化、化粧また戦災優美な ロココ文化を学ぶ。※当時を描いた絵画を基に考察する。	
		3 講義	近世ⅠⅡ (18世紀末～19世紀)	フランス革命後の社会変化。階級の象徴として服装への関心が高まる。 産業革命の成果によるファッションの変遷を学ぶ。 ※経験により絵画、音楽ベートーヴェンの人生から時代を考察する。 また生誕250年にあたりメディア等による情報も取り入れる。	

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・文化論教科書(日本理容美容教育センター発行)　・適宜レジメプリント ・適宜インターネット映像　・画像
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
技術理論 【必修科目】	21期1学年	75	牧野　修平 【有り】	(公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程終了　衛生管理研修課程終了

【授業概要】	・技術の裏付けとなる理論を学び「なぜそうなるのか」ということを明確に理解する。 ・姿勢、作り方、薬剤、手技の精度をより化学的根拠に基づき提供できるよう学習する。
【講義の目的】	実技を行う上で必要不可欠な理論を学ぶことで更なる技術の向上。 国家試験合格

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	1 講義	序章	美容技術理論を学ぶにあたって　美容理論と美容技術 作業姿勢人体各部の名称を学ぶ	基本となる技術理論を学び 社会生活において身だしなみや ファッション文化が必要なのかを 理解することを到達目標とする 到達度小テスト70% 基準以上であること
		4 講義	第1章 美容用具	美容技術におおける用具について学ぶ。 コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、 ヘアアイロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機等	
		4 講義	第2章 シャンプーイング	シャンプーイング総論　サイド、バックシャンプー、リンス、コンディショナー、 トリートメント、スキャルプトリートメント、 ヘッドスパを学ぶ担当教員のサロン経験を活かしシャンプー、トリートメントが どのように毛髪に働きかけるか詳しく説明。	
	5月	3 講義	第3章　ヘアデザイン	美容とデザイン。錯覚やデザインの要素、形、大きさ、テクスチャー、方向性の効果、 バランスのシ種類、調和と対比、リズム等を学ぶ。	デザインファッション文化の 必要性を理解することを 到達目標とする
		6 講義	第4章 ヘアカッティング	ヘアカッティングとは。シザーズとレザーの扱い方。 美容刃物、ヘアカッティングの正しい姿勢、ブロッキング、ヘアカッティングの基礎理論、 ベーシックなカット技法、シザーズによるカット技法を学ぶ。 カッティング理論をスタイル展開図を用いて説明。	
	6月	6 講義	第5章 パーマネントウェービング	パーマネントウェーブの歴史と現在、パーマネントウェーブの理論。 パーマ剤の分類と注意事項。パーマネント技術。ワインディングのバリエーションを学ぶ。	
		9 講義	序章～5章　まとめ	第3章～第5章　まとめ　小テスト　解説　個別指導	小テストの80%の正答率 を目標とする
	7月～8月	13 講義	序章～5章　まとめ	ワークブック、国家試験過去問題、演習、解答、解説、個別指導	
2学期	9月	5 講義	第6章　ヘアセッティング	ヘアセッティングとは。ヘアパーティング、ヘアシェービング、ヘアカーリング、 ヘアウエービング、ローラーカーリング、ブロードライ、アイロンセッティング、 バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピースについて学ぶ。	ファッション文化におけるヘアセット ヘアカラーの重要性を理解することを 到達目標とする 到達度小テスト70% 基準以上であること また過去の問題等でより深く学ぶ
	10月	6 講義	第7章 ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの概要。ヘアカラーの種類、タイプ別特徴、染毛のメカニズム 色の基本、毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテスト、染毛剤使用注意事項、 道具、酸化染毛剤について学ぶ。 担当教員のカラー――コーディネーターの資格を活かし、カラー剤に関する基礎理論と 実際に施術する際の注意等を体験を用いて説明する。	
	11月	3 講義	第8章　エステティック	エステティック概論。皮膚の生理と構造。カウンセリング、マッサージ理論 フェイシャルケア技術とマッサージ。 フェイシャルパック、ボディケア技術とマッサージを学ぶ。	ファッション文化におけるエステ の重要性を理解することを 到達目標とする 到達度小テスト70% 基準以上であること また過去の問題等でより深く学ぶ
		4 講義	第6章～8章　まとめ	第6章　まとめ　小テスト　ワークブック、国家試験過去問題、解説　個別指導	
3学期	1月	3 講義	第9章　ネイル技術	ネイル技術概論。ネイル技術の種類。爪の構造と機能。爪のカット形状。 ネイル技術と公衆衛生。カウンセリング。ネイルケア。アーティフィシャルネイル。 手と足のマッサージを学ぶ	幅広く技術理論を学び社会生活 において身だしなみや ファッション文化が必要なのかを 理解することを到達目標とする 到達度小テスト70% 基準以上であること
		2 講義	第10章　メイクアップ	メイクアップ概論。顔の形態学的な観察。メイクアップと色彩。皮膚の生理と構造。 メイクアップの道具。スキンケア。ベースメイクアップ。アイメイクアップ。 アイブロウメイクアップ。リップメイクアップ。 ブラッシュオンメイクアップ。まつ毛エクステンション。	
	2月	2 講義	第11章　日本髪	日本髪の由来。各部の名称。種類と特徴。日本髪の装飾品。日本髪の結髪道具。 日本髪の結髪技術。日本髪の手入れ。かつらについて学ぶ。	古典ファッション文化の必要性を 理解することを到達目標とする
		2 講義	第12章 着付けの理論と技術	着付けの目的。礼装。着物と季節。着物のいろいろ。帯。小物。着物各部の名称。たたみ方。 着付けの一般的要領。留袖着付け技術。振袖着付け技術。帯締め、帯揚げの結び方。 男子礼装羽織、袴着付け技術。羽織の紐の結び方。女子袴着付け技術。 婚礼着付けの注意事項。 和装花嫁。洋装花嫁を学ぶ。	実際に試着をする古典ファッション 文化の必要性を理解することを 到達目標とする
		1 講義	第11章～第12章 まとめ	ワークブックと国家試験過去問題　演習　解答　解説 教科書の総復習プリント　演習　解答　解説	国家試験過去問題70% の正答率を目標とする

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%
教科書及び教材	・美容技術理論教科書(日本理容美容教育センター発行)　・ワークブック ・DVD(教育センター企画・制作)　・国家試験過去問題
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【必選】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
美容実習 【必修科目】	21期1学年	525	田中　謙二郎 【有り】	サロン勤務35年の実務経験。現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ教頭　HABIA　TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催　文化論・運営管理研修課程修了
			東　いづみ 【有り】	ブライダリストとしてホテル日航熊本に4年勤務。 現在も現役ブライダリストとして現場に立つ。 日本化粧品検定1級取得。ヘアケアマイスター取得。 (公社)日本理容美容教育センター主催　美容技術理論・美容実習研修課程修了
			牧野　修平 【有り】	(公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程終了　衛生管理研修課程終了

【授業概要】	・美容技術理論に従い、実際の手技、姿勢を把握し、国家試験の課題のみだけではなく実際のサロン現場で即戦力となる技術を習得する。
【講義の目的】	美容師国家試験の合格レベルの技術、また就職後に即戦力となるような技術の習得。国家試験合格

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	6 講義	国家試験の課題について	国家試験の課題についてオールウェーブ、ワインディング、カットについての説明	国家試験の課題を明確に理解し、 ワインディングの基本動作、 使用物の正しい取り扱い方が できるようになることを 到達目標とする
		9 講義、演習	ワインディング	基本動作　道具やウイングの取り扱い方	
		9 講義、演習、実習		コーム、ゴムの正しい持ち方　スライスのとり方の練習	
		9 講義、演習、実習		ブロッキングの構成と実践個別指導	
		3 講義		ワインディング全体の構成の講義(プリント配布)	基礎理論の理解を到達目標とする
		3 講義	シャンプーの理論と実習	美容実習1の教科書を用いて理論、作業を学ぶ。	シャンプーの知識と顧客満足度を知り 美容の楽しさを学ぶ。 そのことで社会生活がより豊かなものになる。 ひいては社会全体の幸福の源になりうる 大事なことであるということを 認識することを到達目標とする。
		9 演習・実習	シャンプー実習	バックシャンプーの手順を学ぶ。デモンストレーションにて美容師の手技を学ぶ。 相モデルで実践トレーニングを行う。	
	5月	12 実習	ワインド	ワインディング上巻き個別指導	オンベースと、 2分の1オフベースを 正しく理解する。
		15 演習、実習		ワインディング下巻き個別指導	
		21 講義、演習、実習		センターの構成と実践	
		3 講義	カラー理論	美容室で使用するカラー剤を用いてカラーチャートを使用し、髪質に合わせ、濃度、塗布量の調節を学ぶ。 個別に対応する力をつける。	カラーの知識習得と カラー塗布の正しい技術の習得を 到達目標とする。
	5～6月	12 演習、実習	カラー実習	頭皮で染まりにくいネープの部分等の理論を学び、正確な手順で塗布できるように学習する。 デモンストレーションデモンストレーションにて美容師の手技を学ぶ。 相モデルで実践トレーニングを行う。	
	6月	18 講義、演習、実習	ワインディング	右側半頭分の構成と実践	立ち位置、角度、ラウンドの意味を 正しく理解する。
		18 講義、演習、実習		左側半頭分の構成と実践	
		26 講義、演習、実習		センター、右、左、の角度テンション、巻き納めに注意し全頭を巻き上げる。 ブロッキング(5分)～ワインディング(30分)全頭　タイムト計測	時間内に全頭仕上げる。
	7月	51 実習	ワインディング	センター、右、左、の角度テンション、巻き納めに注意し全頭を巻き上げる。 ブロッキング(5分)～ワインディング(30分)全頭　タイムト計測	時間内に全頭仕上げる。
	8月	7 実習	ワインディング	センター、右、左、の角度テンション、巻き納めに注意し全頭を巻き上げる。 ブロッキング(5分)～ワインディング(30分)全頭　タイムト計測	時間内に全頭仕上げる。
2学期	9月	6 講義、演習	オールウェーブ	国家試験の課題についてオールウェーブの基本動作と道具の取り扱い方	7段構成を理解する
		24 講義、演習、実習		フィンガーウェーブの構成と実践ローションでのコンディション作り cカーブ、リッジの作り方 1段目の毛流れ馬蹄形～1～3段目の作り方	正しいコンディション作りが出来る ようになるウェーブリッジが 正しく作れるようになる
		19 実習		各カールの構成と実践。スカルプチュアカール　右リフト、左リフトの作り方	構成確認を行いながら 時間内に仕上げることを 到達目標とする
	10月	70 実習	オールウェーブ	各カールの構成と実践。スカルプチュアカール　右リフト、左リフトの作り方 【内36時間実務実習】	
	11月	12 実習		1段目～3段目までの構成確認	
		6 実習		1段目～4段目までタイム計測(30分)	
		21 実習		1段目～4段目までの構成確認	
		18 実習	ワインディング オールウェーブ	ワインディング（ブロッキング3分　全頭25分） オールウェーブ（1段目～5段目までタイム計測(35分)）	
	11～12月	21 実習			
3学期	1月	12 実習	オールウェーブ	オールウェーブ（1段目～5段目までタイム計測(21分)）	構成確認を行いながら 時間内に仕上げることを 到達目標とする
		6 講義、演習、実習		メイポールカールの作り方	ステムの角度が0度に近い フラットなカールに仕上げる。
		6 実習		メイポールカールまでタイム計測(24分)	時間内に仕上げる
		6 講義、演習、実習		クロッキノールカールの作り方	正しい作り方、ピニングが 出来るようになる
		9 実習	オールウェーブ	オールウェーブ全頭　タイム計測(30分)	時間内に仕上げることを 到達目標とする
	2～3月	58 実習	ワインディング オールウェーブ	ワインディング全頭タイム計測（ブロッキング込み23分） オールウェーブ全頭タイム計測（27分）	

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価（評価課題10項目による減点方式）30%
教科書及び教材	・美容実習教科書(日本理容美容教育センター発行) ・実習道具一式
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
接遇と コミュニケーション 【選択科目】	21期1学年	40	安樂　麻衣 【有り】	AEAJアロマテラピーアドバイザー、スポーツメディカルトレーナー 星野リゾートASOトップセラピストの経歴を持つ。 現在もブライダリストとして現場に立つ。 JBCA認定教員

【授業概要】	・ビューティ・コーディネーター検定3級認定テキストを学ぶ。 ・現場で役立つ知識を修得し、社会人としてのマナー、コミュニケーションを学ぶ。
【講義の目的】	ビューティ・コーディネーター検定3級取得。現場での知識を学び就職後即戦力となれる知識習得

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	5月	2 講義	ホスピタリティとビジネススキル	ビューティーコーディネータ検定3級　概要	重要ポイントの認識力向上
		4 講義	サロンにおけるビジネスキャリア	社会人としての職業意識　美容業で働くということ　。 サロン勤務　仕事への取り組み方　顧客志向の姿勢。 担当教員の実務経験を基に実際のサロンでの取り組み方を学ぶ。	コミュニケーション力の 重要性を理解する。 就職後の接客業務への知識習得
	6月	2 講義	ホスピタリティを発揮する ビジネスコミュニケーション	ホスピタリティの考え方　言葉によらないコミュニケーション　。 サロンスタッフとしての身だしなみ　スタッフの実際のファッション等現状を学ぶ。	ファッションの知識を習得する
		4 講義	サロン内のコミュニケーション	スタッフ間の円滑なコミュニケーション　就業中の基本マナー。 指示の受け方と報告の仕方　報告書の書き方　会議への参加。 サロンワークを円滑に行う為のスタッフ間のコミュニケーションのとり方を学ぶ	就業中のマナーの習得報告書を 作成できるようになる
	6月、7月	6 講義、演習	接客の基本と 電話の受け方、かけ方	印象の良い聴き方と話し方　敬語表現と正しい言葉使い　接客の基本 電話対応の基本　電話の受け方、かけ方　名刺交換の仕方。 担当教員の現場での知識や実際の現場を想定しロールプレイングを用いて 臨機応変での電話対応を学ぶ。	電話対応、敬語の使い方、 名刺交換が出来るようになる
	7月	2 講義	サロンのメディア活動 ビジネス用語集	パソコンの活用　電子メールの書き方　表とグラフの読み方 ホームページと情報の管理	表、グラフを読み取れるようになる
		2 講義	ビューティコーディネーターの仕事 ビューティコーディネーターとは	トータルビューティのトレンド　ビューティーコーディネーターの役割、 能力、キャリアプラン	重要ポイントの認識力向上
2学期	9月	2 講義	生産性を高める フロアマネジメントワーク	ビューティーコーディネーターの一日　店舗内のクリンリネス 顧客管理とスタイルとの連携 お客様を誘導する　受付・接客時の言葉使い 施術中のお客様への対応　会計業務と次回予約　店販品の販促 アフターカウンセリングの基本とお見送り テキストに記載されていない実際のサロンワークで おこりうる接客を応用編として習得する。	基本的な会計業務、 次回予約のとり方が 出来るようになる。
		2 講義	生産性を高める フロアマネジメントワーク	ビューティーコーディネーターの一日　店舗内のクリンリネス 顧客管理とスタイルとの連携 お客様を誘導する　受付・接客時の言葉使い 施術中のお客様への対応　会計業務と次回予約　店販品の販促 アフターカウンセリングの基本とお見送り テキストに記載されていない実際のサロンワークで おこりうる接客を応用編として習得する。	基本的な会計業務、 次回予約のとり方が 出来るようになる。
		2 講義	「美意識」をコーディネートする	おしゃれをするには　トレンドを理解するには　アドバイスするための分析	アドバイスするための分析が 出来るようになる
		2 講義	ファッションを理解する	生き方、年令などによるファッション ファッションの歴史を知りファッションを先読みする 日本独自の美容トレンドが生まれるまで　オリジナリティある美容の提案へ	講義内容を習得し接客の際に 必要となる提案が 出来るようになる
	10月	2 講義	美容基礎理論	毛髪理論　頭皮科学	理論や知識の習得 接客時の際、解説や提案が 出来るようになる
		2 講義	おしゃれの基本	色の基礎知識　パーソナルカラーとヘアカラー　メイクアップの基本 顔型とヘアスタイル実際にアドバイスできるようグループ学習 でカラーの似合わせを行う	パーソナルカラーを利用 できるようになる
		2 講義	美容メニューの基本知識	カット施術、パーマ施術、カラー施術、ヘアケア施術の名称と解説 お客様のニーズに合わせたメニュー提案とそれに伴う技術の基礎知識を習得する。	各施術の基本的知識習得 お客様へのメニュー提案、 技術説明が出来るようになる
	11月	2 講義	サロンにある器具・ 用具の基本知識	施術に必要な器具・用具類の名称と解説 実物を見ながら使い方や使用上の注意点を学習する。	器具・用具の基本的知識の習得
		2 講義	模擬テスト	ビューティーコーディネーター検定3級　模擬テスト　解答　解説個別指導	模擬テスト正答率80%の 正答率を目標とする

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価（評価課題10項目による減点方式）30%
教科書及び教材	ビューティーコーディネーター検定認定テキスト　3級
資格対応	ビューティーコーディネーター検定　3級
備考	

授業科目名 【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
総合技術 【選択科目】	21期1学年	65	田中　謙二郎 【有り】	サロン勤務35年の実務経験。現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ教頭　HABIA　TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催　文化論・運営管理研修課程修了
			宮田　千佳 【有り】	カラーリストとしてサロンに6年の実務経験。ヘアケアマイスター取得 (公社)日本理容美容教育センター主催　保健・衛生管理研修課程修了
			東　いづみ 【有り】	ブライダリストとしてホテル日航熊本に4年勤務。　現在も現役ブライダリストとして現場に立つ。 日本化粧品検定1級取得。ヘアケアマイスター取得。 (公社)日本理容美容教育センター主催　美容技術理論・美容実習研修課程修了

【授業概要】	・必須学科を元にし、より専門的な技術、ケミカル、文化、ファッションを習得するサロン現場で今行われているものを習得し職業を高める
【講義の目的】	サロンワークで不可欠な技術の理論習得及び基本技術習得

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	3 講義	サロン現場スタッフの体験談	アシスタント～スタイリストの仕事内容や、お客様への対応、 現在の美容室の状況を学習する	美容を業とする自覚を養うことを 到達目標とする
		3 講義　実習	カラーワークのケミカル講座	カラーというものをよく理解する為に基礎の土台となる色の配色を知るため 絵の具を活用して学習する	商剤の成分と特徴を理解し、 発色仕方を理解する
		4 講義	パーマワークのケミカル講座	パーマの原理+ワインディングの仕方での質感の違い 担当教員の現場での経験を基に流行のパーマスタイルを学習する	質感と特徴を理解し、 発色仕方を理解することを 到達目標とする
	4～5月	2 実習	ウイッグを使用しての実習	実際の美容室で使用している薬剤を用いての実習。	商剤の成分と特徴を理解し、 発色仕方を理解することを 到達目標とする
	5月	2 講義、実習	個人でスタイルブック作成	ファッション紙等を切り取り、自分のスタイルブックを作成することにより 自分の好みを知る。	TPOに応じた ヘアアレンジの習得することを 到達目標とする
	7月	3 講義、実習	個人でスタイルブック作成	ファッション紙等を切り取り、自分のスタイルブックを作成することにより 自分の好みを知る。	TPOに応じた ヘアアレンジの習得することを 到達目標とする
	8月	4 実習	作品作り①	ヘア・ファッション・メイク・トータルビューティでの作品作り　準備 グループ学習	作品作りにおいて コミュニケーションを身に付け、 スタイル、テイストを理解する
2学期	9月	6 講義、演習、 実習	現役ブライダリストによる ヘアアレンジ講座	現役ブライダリストによる簡単なヘアアレンジからから正装に合う ヘアアレンジまでを学ぶ。 成人式等、流行の変化を学ぶ。	
	10月	3 実習	グループワークによる スタイルブックの作成	25回～27回で学習したことをグループで行い、テイストごとに分けていく	
	11月	6 講義、演習、 実習	模擬サロン	実務実習の反省を活かし、実習室に模擬サロンをつくりお客様やスタッフを再現する。 模擬サロンから色々なの 接客のやり方を学び視野を広げる。	正しい言葉使い、 提案力を身に付ける
	12月	6 実習	カラーセミナー実習	カラーの明るさ　デザインに合わせを学習しカウンセリングを相モデルで行い カウンセリング力、コミュニケーション力を学ぶ	発想力や創造力、合わせて力を 身に付け社会人となり感性が 必要とされる多様な条件に 対応できる基礎が身につくこと。 それにより社会生活が豊かに なるということを知る。 そのことを到達目標とする。
3学期	1月	3 講義、実習	個人でスタイルブック作成	ファッション紙等を切り取り、自分のスタイルブックを作成することにより 自分の好みを知る。	
	2月	2 実習	作品作り②	ヘア・ファッション・メイク・トータルビューティでの作品作り　準備　グループ学習	
	3月	3 実習	グループワークによる ヘアアレンジの実習	24～30回で学習したことを、モデルを使用した実習	
		6 講義、実習	個人でスタイルブック作成	ファッション紙等を切り取り、自分のスタイルブックを作成することにより 自分の好みを知る。	
		9 実習	作品づくり③ コンテスト	グループ学習　グループ内の1人をモデルとし、テーマに合わせ作品を作る。 デザイン力、感性だけではなくチームワーク力、コミュニケーション力つける。 スタイリストになってからのトータルコーディネートの力をつける。	就職後、即戦力になれるよう 総合的に力をつける

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%
教科書及び教材	配布プリント　各項目に美容用具一式
資格対応	
備考	

授業科目名 【必選】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
毛髪診断 【選択科目】	21期1学年	60	田中　謙二郎 【有り】	サロン勤務38年の実務、美容室経営経験現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA　TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催　文化論・運営管理研修課程修了
			宮田　千佳 【有り】	カラーリストとしてサロンに6年の実務経験。 (公社)日本理容美容教育センター主催 保健・衛生管理研修課程修了
			牧野　修平 【有り】	(公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程終了　衛生管理研修課程終了

【授業概要】	・技術理論で学んだ理論を基に　サロンワークで不可欠な技術メニューの実践を行う。 ・また毛髪理論やケミカルの知識を習得させる
【講義の目的】	カラーリングの基礎から応用までの知識を習得 就職後に即戦力となる技術の習得 Hair Care Meister　プライマリーコースの取得

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
2学期	10月	3 講義	ホイルデザイン理論	カラーリストや現役美容師の体験談を基に、今流行のデザインから 骨格修正のデザインを学習する	1学期で習得した技術に ホイルデザインワークを取り入れ デザインカラーの 技術レベルを上げる。 骨格に合わせたカラーを習得する。 以上の事項を到達目標とする
		3 講義	デザインカラー理論		
		3 演習、実習	ブリーチ塗布	ウイッグを使用し、ブリーチ塗布を実習する	
		3 実習	デザインカラー①	ウイッグを使用し、作品を作る	
	10～11月	12 実習	デザインカラー②	モデル実習。全体のカラーとデザインカラーの色を変え染める。 全体のカラーとデザインがしっかり染まっているのかを重点に施術する。 担当者は作品のプレゼンテーションを行う。	
	11月	12 講義	作品作り①	ヘア・ファッション・メイク・トータルビューティでの作品作り　準備 グループ学習	
		6 実習	パーソナルカラー実習①～③	カウンセリングを基にモデルによるカラー実習を行う。 担当者は作品のプレゼンテーションを行う。 ファッション、肌の色、目の色等、色々な個性を基に ヘアカラーを提案できる力をつける。	
3学期	1月	18 講義	作品作り②	ヘア・ファッション・メイク・トータルビューティでの作品作り　準備 グループ学習	

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%
教科書及び教材	HairCare MaisterBook(日本ヘアマイスター協会)
資格対応	
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
アイデザイナー 【選択科目】	21期1学年	60	清水　美千子 【有り】	サロン勤務7年の実務経験。内2年はアイリストとしても兼務。 TGCKUMAMOTO2020年のステージにてモデルのヘアセットを担当。

【授業概要】	まつ毛エクステンションの理論、基本技術を学ぶ。
【講義の目的】	就職後即戦力となれる知識の習得。

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
2学期	10月	3 講義	まつ毛エクステンション概論 まつ毛エクステンション用具	まつ毛エクステンション概要・用具の名称や取扱方	基礎知識、道具等の正しい扱い方を身につけ、テーマに沿ったデザインができるようになることを目標とする。
		3 講義	衛生管理	病原生物について・消毒の重要性	
		3 実習	ツィザーワーク テーピング実習	ツィザーの持ち方・エクステを並べる練習・テーピング方法	
		3 実習	ツィザーワーク テーピング実習	ツィザーの持ち方・エクステを並べる練習・テーピング方法	
		3 実習	ウィッグ実習	ウィッグを使ったテーピング実習・ウィッグを使った装着実習（Jカール）	
		3 実習	リムービング実習	リムービングの方法・ウィッグを使ったリムービング実習	
	11月	3 講義	保健	眼、瞼、まつ毛に関する知識・注意すべき疾患や病態について	
		3 講義	カウンセリング デザイン	カウンセリングの留意点・まつ毛エクステンションのデザイン	
		3 実習	ウィッグ実習	ウィッグを使った装着実習（Cカール）	
		3 講義	カウンセリング デザイン	カウンセリングの留意点・まつ毛エクステンションのデザイン	
		3 実習	ウィッグ実習	ウィッグを使った装着実習（デザイン別） セクシーライン・キュートライン・グラマラスライン	
		3 実習	作品作り	作品作り・テーマに沿ったデザイン（ウィッグ） メイクまで施し、個々で自由な作品づくりをする	
		3 実習	作品作り	作品作り・テーマに沿ったデザイン（ウィッグ） メイクまで施し、個々で自由な作品づくりをする	
		3 実習	作品作り 撮影	作品作り・テーマに沿ったデザイン（ウィッグ） メイクまで施し、個々で自由な作品づくりをする・作品を撮影する	
3学期	1月	3 講義、実習	カウンセリング ウィッグ実習	カウンセリングのロールプレイング・ウィッグを使った装着実習	カウンセリングからデザイン、装着ができるようになることを目標とする。
		3 実習	ウィッグ実習	ウィッグを使った装着実習（タイムトライアル）	
		6 実習	相モデル実習	相モデルでのテーピング、前処理・装着実習・個人指導	
		6 実習	相モデル実習	相モデルでのテーピング、前処理・装着実習・個人指導	

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価（評価課題10項目による減点方式）30%
教科書及び教材	まつ毛エクステンション（教科書）・練習用ウィッグ・医療用テープ・ツィザー・シザーズ・コーム・エアブロア・グルー・グループレート・リムーバー・まつ毛エクステンション・前処理剤・手指消毒液・精製水・コットン・綿棒・タオル類・ペーパータオル
資格対応	
備考	

授業科目名【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員【実務経験の有無】	担当者経歴
ブライダル【選択科目】	21期1学年	45	東　いづみ【有り】	ブライダリストとしてホテル日航熊本に4年勤務。 現在も現役ブライダリストとして現場に立つ。 日本化粧品検定1級取得。ヘアケアマイスター取得。 (公社)日本理容美容教育センター主催　美容技術理論・美容実習研修課程修了
			宮田　千佳【有り】	カラーリストとしてサロンに6年の実務経験。 (公社)日本理容美容教育センター主催 保健・衛生管理研修課程修了

【授業概要】	・ブライダルの専門知識・洋装のヘアメイク理論を学ぶ ・実技の習得 ・選択による授業
【講義の目的】	現場での知識、技術を学び、技術練習を重ね、トータルで作品を仕上げる。

【授業計画】

期間		時間数・授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	5月	2 講義	結婚式とは	結婚式について(教会式・人前式・仏式)挙式や会場の違いについて学び、理解する	接客～注意事項、トレンド等 様々な知識を得ることを 到達目標とする
		2 講義	ブライダルの仕事とは	ブライダルの仕事をするにあたって仕事内容や言葉使いについて学び、 理解する。担当教員の実務経験を基に、接客～注意事項、トレンド等 様々な知識を学ぶ。	
		2 講義	ブーケについて	ブーケデザインや名前、花の種類について学ぶ。 実物のブーケで形や重さ見え方を知る。	小物、種類、名称を理解し 覚えることを到達目標とする
	6月	3 講義	ドレスについて	ドレスライン(形)について学ぶ。ドレスライン(形)の種類と説明	ドレスラインの 区別が出来る
		3 講義、演習	ブライダルメイク理論	ホテルウェディング、ハウスウェディングのメイクの違い 担当教員の実務経験を基にデモンストレーションにてメイクの提案の仕方を学ぶ。	多種のメイクの提案の仕方を学び 知識を得ることを到達目標とする
		3 実習	ブライダルメイク実践	ブライダルメイクの理論を基に、相モデルでブライダルメイクの実践を行う。 似合わせの提案力、技術力、コミュニケーションを養う。	フルメイクを45分で仕上げる ことを到達目標とする
		3 演習、実習	ヘアセットの仕方	ヘアセットの仕方(ロングヘアー、ミディアムヘアー、ショートヘアー) ヘアセットの基本的な技術を学ぶ。	ピン打ちが出来るようになること を到達目標とする
2学期	9月	6 実習	ヘアセット実践	ヘアセットの基本的な技術を基に、相モデルに合わせたヘアセットを行う。個別指導	完成度を高める、時間内に 仕上げることを到達目標とする
		3 講義、演習	洋装ヘアについて	洋装ヘアのヘアアレンジを学ぶ。担当教員の実務経験を基に、 洋装に合うヘアスタイルを学ぶ。 実際にウェディングドレスとヘアスタイルの愛称、 バランスをデモンストレーションにて学ぶ。	多種のセットの提案の仕方を 学び知識を得ることを 到達目標とする
	10月	3 実習	洋装ヘアの実践①	洋装ヘアのヘアアレンジを学び実践する。 洋装ヘアの実践をウィッグにて行う。個別指導。	アレンジの提案の仕方を学び 知識を得ることを到達目標とする
		3 実習	洋装ヘアの実践②	洋装のヘアアレンジを学び、実践する。洋装ヘアを相モデルにて行う。　個別指導。	洋装ヘアスタイルを 45分で仕上げる
	11月	3 講義、演習	ドレス着脱の仕方 裾の持ち方	ドレスの着脱の仕方。ドレスの裾の持ち方を学ぶ。	トータルで作品 を仕上げることを到達目標とする
		6 実習	花嫁制作・撮影①	相モデルでブライダルメイク、セットを行い、ドレスを着用し撮影する。 ドレスの色や形に合わせてメイクやヘアスタイルの似合わせを習得する。	
		3 講義、演習、実習	かつらの説明・実践	担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ。 かつらの種類・装着の仕方を学び実践する。	完成度を高める、 時間内に仕上げることを 到達目標とする

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%
教科書及び教材	適宜インターネット映像　DVD　実用本
資格対応	
備考	

授業科目名 【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
メイク 【選択科目】	21期1学年	60	大岸　伸子 【有り】	外資系化粧品メーカーに6年勤務 トレーナーとしてのキャリアを持つ JBCA認定教員の経歴

【授業概要】	メイクの基礎から応用までの理論・技術を学ぶ。現場で必要なスキルを身に付ける。 技術だけではなく、分析力・マナー・コミュニケーションも学ぶ。 選択による授業
【講義の目的】	基礎理論を基に知識・技術を学び、スキンケアからフルメイクまでを仕上げる 就職後、美容業界で働く上で必要となる技術を養う

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	5月	3 講義	メイク理論	メイク理論肌の構造、、肌分析、スキンケア方法、道具配布、道具の取り扱い方を学ぶ 骨格から受ける印象、目や鼻等のパーツから受ける印象等お顔から受ける印象を学ぶ 担当教員の実務経験から実際にお客様の悩みが多い肌トラブル、 肌トラブルへの対応の仕方、コンプレックスへの対応、テクスチャー選びを学ぶ。	正しい道具の取り扱いが 出来るようになることを 到達目標とする
		3 講義、演習	クレンジング～コントロールメイク 理論	クレンジングの方法を学ぶ。化粧水のタッチアップの仕方、 ファンデーション塗りの手順、パウダーののせ方、骨格修正を学ぶ。 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ。	化粧水～ファンデーション塗り、 骨格修正の手順の習得を 到達目標とする
		3 実習	クレンジング～コントロールメイク	クレンジング～化粧水、ファンデーション塗り、骨格修正を相モデルで実践 個別指導	
		3 講義、演習	ポイントメイクの基本技術	ポイントメイクの描き方、基本の位置や形を学ぶ。 印象別によるメイクの違いを学ぶ。 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ。	ポイントメイクの理論 基本の描き方の習得を 到達目標とする。
	6月	3 実習	ポイントメイクの基本技術の実践	理論を基にポイントメイクの実践。 個別指導	
		3 講義、演習	ソフトメイク　理論 デモンストレーション	ソフトメイクの理論を学ぶ 理論を基に、モデルに似合うソフトメイクを担当教員がデモンストレーション。 手技を学ぶ。	理論の理解し解説できること を到達目標とする
		3 実習	ソフトメイク 実践	ソフトメイク　実践相モデルでソフトメイクの実践を行う個別指導	ソフトメイクを習得すること を到達目標とする
		3 講義、演習	シャープメイク　理論 デモンストレーション	シャープメイクの理論を学ぶ理論を基に、モデルに似合うシャープメイクを 担当教員がデモンストレーション。手技を学ぶ。	理論の理解し解説できること を到達目標とする
2学期	9月	3 実習	シャープメイク　理論 実践	シャープメイク　実践相モデルでシャープメイクの実践を行う個別指導	シャープで知的なメイクを 習得することを 到達目標とする
		3 講義、演習	ソフトメイク応用　理論	コンテストを想定した作品作り　理論を学ぶ アジアビューティーコングレスの大会出場を想定した作品作り 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ	コンテストメイクと、普段のメイクの 違いを解説することができる ことを到達目標とする
		3 実習	ソフトメイク応用　実践	理論を基に相モデルでアジアビューティーコングレスの大会出場を想定した 作品を作る。似合わせ、作品を作る力を養う	モデルの顔分析を基に コンテストメイクを習得する ことを到達目標とする
		3 講義、実習	シャープメイク応用　理論	ステージ・ショーを想定した作品作り 2年次に行われるヘアショーを想定した作品作り 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ	ステージ・ショーメイクと、 普段のメイクの違いを解説する ことができることを到達目標とする
	10月	3 実習	シャープメイク応用　実践	理論を基に相モデルで2年次に行われるヘアショーを想定した作品を作る。 似合わせ、作品を作る力を養う	モデルの顔分析を基に ステージ・ショーメイクを 習得することを到達目標とする
		3 講義、演習	ステージメイク　理論	顔の骨格を活かし、カラーではなく影の色を利用、メイクを少ないカラーで メイクすることにより、ブレンディング、ブラシワークのテクニックを習得する。 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ	骨格修正の理論を基に 顔分析をしモノトーンメイクを習得 することを到達目標とする
		3 実習	ステージメイク　実践	理論を基に相モデルでモデルの骨格を活かしカラーではなく影の色を利用、 メイクをする少ないカラーでメイクすることにより、ブレンディング、 ブラシワークのテクニックを習得する。	
		3 講義、演習	フォーマルメイク　理論	就職後、実際に依頼の多いフォーマルメイクを習得する。 衣装に合わせたベースの作り方、似合わせ、提案力を養う 担当教員のデモンストレーションにて手技を学ぶ	ゲスト等に合うメイクや フォーマルな装いに合うメイクを 習得することを到達目標とする
3学期	1月	3 実習	フォーマルメイク　実践	理論を基に成人式や、結婚式のゲスト等フォーマルな衣装に合うメイクを実践する。 モデルや衣装に合わせた作品を作る。カウンセリング、コミュニケーション力を養う。 個人指導	
		3 実習	ソフトメイク・シャープメイク 半顔テスト	モデルの顔半分にソフトメイク、もう片側にシャープメイクを施す。 45分タイムトライアル。個人指導	理論を理解し正しく 実践することを 到達目標とする 作品評価 （評価課題10項目による 減点方式）
	2月	6 実習	作品作り・撮影	作品作り　自由制作モデルに合わせ、メイク、ヘアセット、ファッション、トータルで コーディネートする仕上がった作品を撮影する　写真の写り方を学ぶ。	

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価（評価課題10項目による減点方式）30%
教科書及び教材	・メイクテキスト　・美容技術理論教科書(日本理容美容教育センター発行) ・メイク道具一式　・DVD
資格対応	
備考	

授業科目名【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員【実務経験の有無】	担当者経歴
サロンカット【選択科目】	21期1学年	105	井上　隆之【有り】	サロン勤務13年の実務経験を経てモアヘアメイクカレッジ教務につく 現在も現役美容師として現場に立つ (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習　衛生管理　運営管理　香粧品化学 研修課程修了
			田中　謙二郎【有り】	サロン勤務38年の実務、美容室経営経験　現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ校長 HABIA　TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催　　文化論・運営管理研修課程修了

【授業概要】	・実践に通用するテクニックの習得 ・国家試験課題によるカット以外の実践的なデザインカットの技術を習得する。 ・選択による授業
【講義の目的】	基礎理論を基に知識・技術を学び、作品を仕上げる。 就職後即戦力となれる技術を習得する。 全てのカットはベーシックのワンレングス、グラデーション、セームレーヤーの組み合わせなのでベーシックを重点に姿勢、切り方を習得する。

【授業計画】　カット①
ブライダル／カット

期間		時間数・授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	5月	6 講義、演習、実習	カット	シザーの持ち方、シザー運行、基本姿勢を学びスタイリストとしての土台作りをする。 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ。 ウィッグを使用し、実践する。刃物を取り扱うにあたっての安全性を 第一に考え持ち方、動かし方、自分の体を壊さないような姿勢作りを学ぶ	基本を理解し正確にできることを到達目標とする
		6 講義、演習、実習	ワンレングスカット①	ワンレングスカット(ベーシック) 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ　個別指導	ワンレングスカット(ベーシック)が出来るようになる全頭100分で切り終えることを到達目標とする
	6月	6 実習	ワンレングスカット②	ワンレングスカット(ベーシック)タイム計測　個別指導	
		3 講義、演習、実習	グラーデーションカット①	グラデーションカット(ベーシック) 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ個別指導	グラデーションカット(ベーシック)が出来ようになる全頭100分で切り終えることを到達目標とする
	7月	3 実習	グラーデーションカット①	グラデーションカット(ベーシック)タイム計測　個別指導	
		3 講義、演習、実習	セームレーヤーカット①	セームレーヤーカット(ベーシック) 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ個別指導	セームレイヤーカット(ベーシック)が出来るようになる全頭100分で切り終えることを到達目標とする
2学期	9月	3 実習	セームレーヤーカット②	セームレーヤーカット(ベーシック)タイム計測　個別指導	
		3 講義、演習、実習	刈り上げスタイル①	刈り上げスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ 現代のメンススタイルの流行を作ることが出来るようになる　個別指導	実践的技術を学ぶことでより社会での職業意識を持つことを意識する。 また各スタイルについて 理論を理解し正しく実践することを到達目標とする 作品評価 (評価課題10項目による減点方式)
		3 講義、演習、実習	2ブロックスタイル	2ブッロクスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ 現代のメンススタイルの流行を作ることが出来るようになる　個別指導	
	10月	3 講義、演習、実習	ベリーショートスタイル	ベリーショートスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ個別指導	
		3 講義、演習、実習	マッシュスタイル	マッシュスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ個別指導	
		3 実習	自由制作スタイル	自由制作スタイル生徒間での投票を行い、色々な作品を見て学ぶことにより、感性を磨かせる。	基本を理解し正確にできたかを評価しそれを到達目標としてみる

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%
教科書及び教材	カット用具一式 ウイッグ
資格対応	
備考	

【授業計画】 カット②
メイク／カット

期間		回	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	5月	9 演習、実習	カット	シザーの持ち方、シザー運行、基本姿勢を学ぶ。 スタイリストとしての土台作りをする(ウィッグを使用してのシザー運行) メンズスタイルを理解し、長さをカットするだけではなく、 動き、スタイリングまで出来るようになる。 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ。 個別指導	基本動作、正しい姿勢が とれるようになる
		3 演習、実習	メンズショートレーヤー スタイル	メンズショートレーヤースタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ。個別指導	メンズショートレーヤースタイル が出来るようになることを 基本とし到達目標とする
	6月	6 演習、実習	メンズウルフスタイル	メンズウルフスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ。個別指導	
		6 演習、実習	メンズ前下がりスタイル	メンズ前下がりスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ。個別指導	
	7月	6 演習、実習			
2学期	9月	6 演習、実習	メンズ刈り上げスタイル	メンズ刈り上げスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ。個別指導	メンズ刈り上げスタイル が出来るようになることを 到達目標とする
		3 演習、実習	メンズショートレーヤー スタイル タイムトラアル	メンズショートレイヤースタイルをウィッグにて全頭100分で作品を作り上げる。 就職後、実際の接客時間を想定しスタイルを作れるようにする。	全頭100分で切り終える
		3 演習、実習	メンズベリーショート スタイル	メンズベリーショートスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ。個別指導	メンズベリーショートスタイルが 出来るようになることを 到達目標とする
	11月	3 演習、実習	メンズマッシュスタイル	メンズマッシュスタイル 担当教員の現役美容師としての手技をデモンストレーションにて学ぶ。個別指導	メンズマッシュスタイルが出 来るようになることを到達目標とする
	12月	3 演習、実習	似合わせ自由制作	個性(ファッション、ライフスタイル、頭の形状等)に合わせた作品を作る。 個人に合わせた似合わせが出来るようになる。 担当教員の現役美容師としての知識、手技、による似合わせを重視した スタイル作りを学ぶ。個人指導。	個性を考え似合わせが 出来るようになることで 社会に出てからの自信が 地域の豊かさに貢献できる ということを到達目標とする
3学期	1月	6 演習、実習	似合わせ自由制作	個性(ファッション、ライフスタイル、頭の形状等)に合わせた作品を作る。 個人に合わせた似合わせが出来るようになる。 担当教員の現役美容師としての知識、手技、による似合わせを重視した スタイル作りを学ぶ。個人指導。	個性を考え似合わせが 出来るようになることで 社会に出てからの自信が 地域の豊かさに貢献できる ということを到達目標とする
	2月	6 実習	メンズスタイル 自由制作	メンズスタイル自由制作 テスト100分間でスタイルを作り、仕上げた作品のプレゼンテーションを行う。	100分で作品を仕上げる。

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価（評価課題10項目による減点方式）30%
教科書及び教材	・カット用具一式　ウィッグ　・TONI&GUYフューチャーファンデーションBOOK、DVD
資格対応	
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
ネイル 【選択科目】	21期1学年	60	黒木　貴美子 (外部講師) 【有り】	ネイリストとして17年の実務経験。 スクール講師の経験有り。 NPO法人　日本ネイリスト協会　認定講師取得 NPO法人　日本ネイリスト協会　本部認定講師

【授業概要】	ネイルの理論、基本技術を学ぶ。 検定取得に向けての知識、技術の習得。
【講義の目的】	ネイル検定取得。 就職後即戦力となれる知識の習得。

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
2学期	10月	3 講義	爪の構造と働き	ネイル歴史　ネイル技術体系　爪の構造と働き	爪の構造と働きを理解する
		3 演習	皮膚科学 生理解剖学	ネイルの為の皮膚科学　ネイルの為の生理解剖学Ⅰ、Ⅱ	皮膚科学・生理解剖学の理解
		3 講義	病気とトラブル	爪の病気とトラブル　消毒法　マッサージ理論	適切な判断が出来るようになるため 基礎知識の習得
		3 演習	化粧品学と理論	化粧品学(ネイル用化粧品)　色彩理論　技術理論	理論の理解
		3 演習	カウンセリング	ネイルカウンセリング　プロフェッショナリズム　サロン環境	基本的なカウンセリングが 出来るようになる
		3 演習	テーブルセッティング デモンストレーション	テーブルセッティング　ネイルケアデモンストレーション プレマネキュア　手指消毒　ファイリング	テーブルセッティングの習得と 手指消毒
		3 演習	キューティクルクリーン	キューティクルクリーン	キューティクルクリーンの習得
	11月	3 演習	カラーリング	カラーリング　ポリッシュオフ	カラーリングを理解し、習得する
		3 演習	カラーリング	カラーリング　ポリッシュオフ	
		3 演習	フラットアート実践練習	フラットアート(ベーシック)	フラットアートを習得
		3 演習	フラットアート実践練習	フラットアート(ベーシック)	
		3 演習	ハンドマッサージ	ハンドマッサージ	ハンドマッサージの手順の習得
		3 演習	JNEC　ネイリスト技能検定に向けて	全行程のトレーニング	全行程の習得
		3 演習	JNEC　ネイリスト技能検定に向けて	全行程のトレーニング	全行程の習得
		3 演習	JNEC　ネイリスト技能検定に向けて	検定対策(DVD、デモンストレーション、説明)	検定についての基礎知識の習得
3学期	1月	3 演習	JNEC　ネイリスト技能検定に向けて	検定対策(DVD、デモンストレーション、説明)	検定についての基礎知識の習得
		3 演習	JNEC　ネイリスト技能検定に向けて	検定対策	規定タイムに入ること 作品評価 【評価課題10項目による限定方式】
		3 演習	JNEC　ネイリスト技能検定に向けて	検定対策	
		3 演習	JNEC　ネイリスト技能検定に向けて	検定対策	
		3 演習	JNEC　ネイリスト技能検定に向けて	検定対策	
		3 演習	JNEC　ネイリスト技能検定に向けて	検定対策	

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%
教科書及び教材	・ネイルテキスト　・ネイル検定教科書 ・ネイル道具一式　・DVD
資格対応	
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
関係法規 【必修科目】	20期2学年	10	井上　慎一郎 （外部講師） 【なし】	行政書士 大学・大学院で法律を学んだ後、官公署や士業事務所での勤務経験を生かし、 行政書士として熊本市を中心に許認可申請業務・事業運営支援その他行政手続きのサポートを行う。

【授業概要】	理容師・美容師法について学ぶ
【講義の目的	国家試験合格 美容師法を中心とした関係法規の理解

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
2学期	11月	2 講義	全講義の復習 （重要要約のレジメ解説）	重要要約レジメにて問題解答解説	到達度小テスト70％基準以上であること　解答解説により重要箇所を理解する
		2 講義	期末試験の解答と解説	美容所と美容師に関する定義について講義	定義についての理解度を小テスト70％基準でチェック
		2 講義	○×問題250問（解答、解説、個別指導）	美容師法について（人、施設の定義　立ち入り検査　行政処分と罰則）	社会における美容師法との関りを知ることを到達目標とする テストを交えての講義でチェックをする 到達度テスト70％基準以上であること
	12月	2 講義	予想問題70問（解答、解説）	過去問題中心にテスト　解答解説	
3学期	2月	2 講義	個別指導	過去問題中心にテスト　解答解説	

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・関係法規教科書(日本理容美容教育センター発行)　・ワークブック ・適宜プリント配布
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
衛生管理 【必修科目】	20期2学年	40	井上　隆之 【有り】	美容歴21年　モアヘアメイクカレッジ勤務10年　現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習　衛生管理　運営管理　香粧品化学　研修課程修了 以上の経歴により、教科書に元ずく授業はもとより、サロンの現場で昨今重要視される 安全性について「衛生管理」の基礎から応用までを指導できる。

【授業概要】	施術を通して客や理.美容師は感染症に罹患する可能性がある。その防止のため消毒法を学び、業務と消毒との関係を論理的に理解することは重要である。また美容業においての公衆衛生の向上の為の知識習得及び社会生活における感染症等の予防についても重要である。
【講義の目的】	美容業務と個人衛生との関わりから公衆衛生や感染症等の予防や対策を理解すること。

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	3 講義	【第1章】消毒法総論	消毒の意義を社会生活における感染症等を例題に考える。 ※サロンで使用する道具の必要性を理解し感染症との関連を考える。	社会生活における感染症等の知識理解度を到達目標とする
		2 講義	【第2章】消毒法各論	サロン実務経験から化学的消毒法を実習を交えることで現場において 嗅覚等の必要性を体験する。	定義についての理解度を小テスト70％基準でチェック
	5月	2 講義	【第3章】消毒薬希釈法	サロン実務経験から美容室での消毒薬の実践的使用法等を教科書と同期させ講義。	サロンでの消毒が公衆衛生の上必要性を認識することを到達目標とする
		2 講義	総まとめ	1学期の範囲の25問テスト及び過去問題の解説。公衆・環境衛生の再確認	感染症消毒に関する事項が日常の中で必要であることを認識することを到達目標とする
	6月	2 講義	総まとめ		
		2 講義	理.美容所における衛生管理要領	公衆衛生のもつ大義としての”住民の健康”を守ることを中心に展開する。 ※サロンの現場で使用しているエタノール溶液・次亜塩素酸ナトリウム等を用い 実際の器具等を消毒体験をする。	消毒に関する事項が日常の中特に特に公衆衛生学の観点から考察し、 その重要性・必要性を学び、 その知識体験が公衆衛生上社会においての健康維持に必要であることを認識することを 到達目標とする 到達度小テスト70％基準 以上であること
		4 講義	消毒の自主的管理体制について考察	健康の持つ意味としての”肉体的・精神的・社会的”の意味を講義する。	
2学期	9月	2 講義	消毒の自主的管理体制について考察	健康が単に疾病や病弱ではないということだけでなく何が完全に良好な状態なのかを考える。	
		2 講義	消毒の自主的管理体制について考察	WHOの定義をわかりやすく授業に落とし込み、美容における役割を考えまとめる。	
	10月	6 講義	消毒の管理について	衛生管理要領定めてある事項の理解。①接客においてのリスクとして血液感染を中心に考える。 ※実務経験からサロンの現状と座学で学んでいる内容を 照らし合わせさらに細分化した学習をする。	普段考えることのなかったサロンでの消毒、衛生の考え方が 公衆衛生上社会に役立つ 認識することを到達目標とする
		4 講義	衛生の管理について	理.美容所における衛生管理要領をさらに細分化して定めてある事項をより理解する。 ②現状として患者数が増加傾向にある問題肝炎・梅毒について講義する。	
		4 講義	2学期まとめ	今まで学んだことのまとめから衛生管理の役割を考える。※担当教員のサロンの現場での消毒方法、廃棄物の処理、薬剤の廃棄処理衛生害虫侵入阻止のための予防について学ぶ。	今まで学んだことから地域や 社会生活との関りにおける 衛生管理の役割を考える。 到達度小テスト70％基準 以上であること
	11月	3 講義	2学期まとめ	今まで学んだことのまとめから衛生管理の役割を考える。※担当教員のサロンの現場での消毒方法、廃棄物の処理、薬剤の廃棄処理衛生害虫侵入阻止のための予防について学ぶ。	
	12月	1 講義	総まとめ（全学期）	全学期範囲による25問テスト及び過去問題の解説。 近年の過去問題＋α現代の公衆衛生の現状の再確認	
3学期	2月	1 講義	総まとめ（全学期）	全学期範囲による25問テスト及び過去問題の解説。近年の過去問題＋α現代の公衆衛生の現状の再確認	

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・衛生管理教科書(日本理容美容教育センター発行)・ワークブック ・各章まとめプリント　模擬問題プリント
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
保健 【必修科目】	20期2学年	40	森田　朋子 【有り】	サロン勤務14年の実務経験を経てモア・ヘアメイクカレッジ教務につく現在も現役美容師として現場に立つ ヘアケアマイスター取得　マナー検定取得 アジアビューティコングレス受賞歴有 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習　美容保健　研修課程修了以上の経歴により、 教科書に元ずく授業はもとより、サロンの現場での経験により「美容保健」の基礎から応用までを指導できる。

【授業概要】	毛髪・爪・肌の基本理論を習得し、その根本的である人体の構造・機能・皮膚・付属器官・役割の知識を高め容姿だけではなく、心身ともに健康を目指す。
【講義の目的】	1年次学習した内容を理解し、さらに深め知識を上げるとともに、社会生活における美容保健の果たすべき役割について考察することで社会に寄与する。

【授業計画】　全編講義

期間		時間数・授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	1 講義	1年次復習	プリント問題　回答解説により土台作りを徹底する	社会生活での美容保健の 果たすべき役割を認識しているか を到達目標とする
		1 講義	第1章　人体の構造	復習テスト(骨格器系、筋系、神経系、血液・循環器系、消化器系)	定義についての理解度を小テスト 70%基準でチェック
				人体の構造　まとめ　問題演習、解答、解説	
		2 講義、演習	第2章　骨角器系	人の骨格構造を模型等により実際の動きとその可動域を知ることでサロンでのカット・シャンプ ー時の姿勢の重要性を学ぶ。またそのことで自身の健康を保つことへの重要性を確認する。	可動域について理解することを 到達目標とする
	5月	3 講義	第3章　筋系	サロンでの実務経験よりサロンワークでの負担のかかりやすい部位等をわかりやすく解説。 実際にシミュレーションする。	シャンプー作業での負担個所を感じる箇所を理解し、マッサージによる血行促進や労働時のメンタル的知識も学んでいく
		3 講義	第4章　神経系 第5章　血液循環器系		
		1講義	第5血液循環器系		
	6月	3 講義、実習、演習	第5章血液循環器系	神経系と血液循環器系についてプリントによる復習と演習と実習。※サロンで実際に施術しているマッサージ方法を取り入れ効果的な箇所についてケアの方法を学ぶとともに、 自身のダメージを受けやすい箇所について知ることで他人に対してのケアの重要性を学ぶ。　皮膚の構造や皮膚の循環器、神経系について学ぶ	神経系と血液循環器系皮膚の詳細について 理解をすることで社会生活に おける健康を意識することを 到達目標とする
		3講義	第6章消化器系		
		3講義	2章皮膚の構造		
	7月	2 講義	2章　皮膚付属器官の構造	皮膚付属器官の構造を理解し、毛髪の構造や成長メカニズムなどについてなど美容に通ずる知識を高めていく	消化器系について理解をすること で 社会生活における健康を意識 することを到達目標とする
		1 講義	2章皮膚付属器官の構造	復習(皮膚の構造、皮膚付属器官の構造、皮膚の循環器系と神経系)	到達度小テスト70%基準 以上であること
2学期	9月	3 講義	2章神経系、皮膚付属器官	皮膚の循環器系との関連性について　小テスト	人毛による実験にて薬剤の作用を理解することで客に対しての安全を認識することを到達目標とする
	10月	8 講義	2章　皮膚付属器官	皮膚付属器官の構造での学習をもとにその働きや関連性、応用知識を学ぶ　小テスト	神経系と生理機能について理解をすることで社会生活における 健康を意識することを 到達目標とする
	11月	2 講義	2章　皮膚付属器官の保健	人体の健康と皮膚の健康状態との関連性、生活環境の重要性も学ぶ	
		1 講義	2章　皮膚付属器官疾患	皮膚付属器官の保険と疾患についてより詳しく関連性について復習する ※皮膚トラブルを学ぶことにより現場の美容師やお客様、 さらに様々な疾患についての対応することにより社会に寄与する学習をする。	皮膚疾患について理解をする ことで社会生活における健康を意識することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準 以上であること
		1 講義	総まとめ	過去問題とワークブックによる総まとめ	社会生活での美容保健の 果たすべき役割を認識している かを到達目標とする
3学期	2月	2講義	国家試験に向けて	ここまでの学習を生かして国家試験へ向け最終的な復習	ここまでで学習した知識を実際の現場でどう活かしていくかも意識し、 国家試験合格を到達目標とする

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・美容保健教科書(日本理容美容教育センター発行)　・ワークブック・各章まとめプリント・模擬問題
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
香粧品化学 【必修科目】	20期2学年	20	井上　隆之 【有り】	美容歴21年　モアヘアメイクカレッジ勤務10年　現在も美容室勤務 （公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習　衛生管理　運営管理　香粧品化学　研修課程修了 以上の経歴により、教科書に元ずく授業はもとより、サロンの現場で昨今重要視される 安全性について「衛生管理」の基礎から応用までを指導できる。

【授業概要】	1章～6章までの個別指導(過去問題、解説による国家試験対策) パーマ、カラー、スタイリング剤を使用しサロン現場に直結できるような知識を習得することで社会生活での安全に意識を持つ。
【講義の目的】	1年次学習した内容の理解し知識を深め、その知識が日常生活での香粧品の見極めに役立つよう知識を高める 国家試験対策

【授業計画】　全編講義

期間		時間数・授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	5月	3 講義	界面活性剤　シャンプー、トリートメント剤について	頭皮毛髪別シャンプー剤を実際に選び用いる 成分を確認し効果や陽性陰性等について講義。	製品と原料についての知識を持つことによりさらに成分管理の大切さを理解できることを到達目標とする 到達度小テスト70％基準以上であること
	6月	3 講義	高分子化合物	天然、合成、半合成それぞれの化合物の特徴を講義。	
	7月	2 講義	2章　香粧品用原料	問題演習と化合物等名称確認。	
2学期	9月	2 講義	パーマ剤、カラー剤について	サロンで使用しているパーマ剤やカラー剤を用いて医薬部外品について検証する。	普段使用しているものの中に医薬部外品と化粧品があるという認識する。それが生活の中において安全に香粧品を使用する観点から重要であることを認識することを到達目標とする 到達度小テスト70％基準以上であること
	10月	1 講義	スタイリング剤	サロンで使用しているスタイリング剤の内容成分を確認し用いて各自実際に整髪してみる。	
		2 講義	3章　基礎香粧品	薬局にある化粧水数種類を用いて成分の違いをみて実際に比較してみる。	
		3 講義	4章　メイクアップ用化粧品	学校の教材であるメイクアップ用化粧品を用いて内容成分と用途の関連性を考察する講義。	実際に何を用いてどうなったのか、また成分について考え安全に使用するために用途用法を理解することを到達目標とする
	11月	3 講義	5章　頭皮・毛髪用化粧品	頭皮状態をマイクロスコープにてチェック後、頭皮に合わせたヘアトニック、育毛養毛剤を選択する。 選択した商品は、それぞれについて化粧品と医薬部外品との関連性を考察する。	実際に何を用いてどうなったのか、また成分について考え安全に使用するために用途用法を理解することを到達目標とする
		1 講義	6章　芳香製品と特殊香粧品 総まとめ　個別指導	芳香製品数種の比較と成分確認。 総まとめテストと問題演習、解答、解説。	実際に何を用いてどうなったのか、また成分について考え安全に使用するために用途用法を理解することを到達目標とする 到達度小テスト70％基準以上であること 生活の中において安全に香粧品を使用する観点から重要であることを認識することを到達目標とする 到達度小テスト70％基準以上であること

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・香粧品化学教科書(日本理容美容教育センター発行)　・ワークブック ・適宜プリント配布
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
文化論 【必修科目】	20期2学年	20	松嶋浩明 【有り】	サロン勤務35年の実務、美容室経営経験 現在も現役美容師として現場に立つ モア・ヘアメイクカレッジ教頭 HABIA TONI&GUY認定講師 (公社)日本理容美容教育センター主催 文化論・運営管理研修課程修了

【授業概要】	理容・美容の語義の理解と日本の理容・美容業の歴史、及び日本のファッション文化史を知る
【講義の目的】	ファッション・芸術の分野を理解し、美的感覚や創造性・感性を磨くことが美容業・各種サービス業に就くことに必要不可欠であることを理解させる。 また歴史を知る事誇りに思い人生を豊かにすることが地域社会にとっての徳に繋がることであると理解する

【授業計画】 全編講義

期間		時間数・授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	3 講義	日本の美容の歴史	社会が求めているトータルファッションとは何か。 ※学生一人一人を顧客とみて各々のヘアスタイルやファッションについての考え方から、社会全体の今後の流動を予測してみる。	到達度小テスト70%基準以上。常識的内容が理解を到達目標とする
	5月	3 講義	ファッション文化史日本編	室町～江戸時代までの髪型と時代背景をさらに深く学ぶ。 ※講師経験による歌舞伎時代ものDVDと画像によっての 時代考証日本のファッション文化史 明治～現代までの髪型と時代背景についてさらに深く学ぶ。 ※画像による時代考証とその時代を描いた動画にての考察。	
	6月	2 講義			
	7月	2 講義		日本のファッション文化史　日本ファッション文化史より ※講師経験による日常のファッション文化を多角的に検証し今後社会に必要とされるトータル的ファッション文化を考察する。	
2学期	9月	2 講義	ファッション文化史西洋編	西洋ファッション文化史　復習(古代エジプト～古代ゲルマンまでの髪型と衣服、時代背景について)※画像による時代考証とその時代を描いた動画にての考察	定義についての理解度を小テスト70%基準でチェック
	10月	2 講義		西洋ファッション文化史　ビザンチン～現代までの髪型と衣服、 時代背景について※特に重要な演劇との関連を検証する。 ※講師経験によるキエフバレエを題材に衣装と装飾など 現代ファッションとの類似点等を検証する。	
		2 講義	日本のファッション文化史	衣装を実際に身に付ける　和装の礼装と洋装の礼装 ※日常の礼装の特徴や傾向を考察。 また過去40年間の礼装の変化と社会のニーズを考察する。	
	11月	2 講義	和装・洋装の歴史	和装の礼装※実務経験による講義中心で実際の画像を混ぜる。 ※日本人ノーベル賞受賞式の礼装を考察する。現代社会において最も利用される洋装の礼装について考える。※講師実務経験 によるおしゃれ普段着と礼装の違い(ファッションの多様化と個性について)	実際に試着をすることで体験　伝統としての礼装とマナーとしての礼装の使い分けを理解していることを到達目標とする　到達度小テスト70%基準以上であること
		2 講義	総まとめ	模擬テスト　個別指導	

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・文化論教科書(日本理容美容教育センター発行)　・適宜レジメプリント ・適宜インターネット映像　・画像
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【必撰】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
技術理論 【必修科目】	20期2学年	60	上田　公美 【有り】	熊本市内のサロンにて6年の実務経験。 アパレル店勤務の経歴を持つ。ヘアケアマイスターインストラクター取得 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程修了

【授業概要】	・技術の裏付けとなる理論を学び「なぜそうなるのか」ということを明確に理解する。 ・姿勢、作り方、薬剤、手技の精度をより化学的根拠に基づき提供できるよう学習する。
【講義の目的】	実技を行う上で必要不可欠な理論を学ぶことで更なる技術の向上。 国家試験合格

【授業計画】

期間		時間数・授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	2 講義	序章	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。小テスト　個別指導	小テストの70%の正答率を目標とする
		2 講義	第1章 美容用具		
		2 講義	第2章 シャンプーイング		
		1 講義	第3章　ヘアデザイン		
	5月	2 講義	第4章 ヘアカッティング	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。小テスト　個別指導	小テストの70%の正答率を目標とする
		2 講義	第5章 パーマネントウェービング		
		2 講義	第6章　ヘアセッティング		
		2 講義	第6章　ヘアセッティング		
		2 講義	第7章 ヘアカラーリング		
		2 講義	序章～7章　まとめ	ワークブック、国家試験過去問題、演習、解答、解説、個別指導	小テストの80%の正答率を目標とする
	6月	1 講義	第8章　エステティック	国家試験に出題されやすい個所をより詳しく学ぶ。小テスト　個別指導	小テストの70%の正答率を目標とする
		2 講義	第9章　ネイル技術		
		2 講義	第10章　メイクアップ		
		1 講義	第11章　日本髪		
		2 講義	第12章 着付けの理論と技術		
		2 講義	第8章～12章　まとめ	ワークブック、国家試験過去問題、演習、解答、解説、個別指導	小テストの80%の正答率を目標とする
2学期	9月	8 講義	序章～12章　総復習	総復習の模擬テストにて理解度を確認する個別指導	小テストの80%の正答率を目標とする
	10月	17 講義	序章～12章　総復習	総復習の模擬テストにて理解度を確認する個別指導	小テストの80%の正答率を目標とする
	11月	5 講義	序章～12章　総復習	総復習の模擬テストにて理解度を確認する個別指導	小テストの80%の正答率を目標とする
3学期	2月	1 講義	序章～12章　総復習	国家試験前最終復習	国家試験過去問題90%の正答率を目標とする

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・美容技術理論教科書(日本理容美容教育センター発行)　・ワークブック ・適宜プリント配布
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
運営管理 【必修科目】	20期2学年	20	井上　隆之 【有り】	美容歴21年　モアヘアメイクカレッジ勤務10年　現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習　衛生管理　運営管理　香粧品化学　研修課程修了 以上の経歴により、教科書に元ずく授業はもとより、サロンの現場で昨今重要視される 安全性について「衛生管理」の基礎から応用までを指導できる。

【授業概要】	経営の目的を明確にし、継続して顧客を満足させ収益の維持活動の為の責任を負うことが経営者としての根幹である。そのような考えのもと経営や経営者にとっての基本的考え方を考察する。
【講義の目的}	経営者の視点、人という資源・従業員としての視点、サービスデザインの学習を深め理解する 国家試験合格

【授業計画】　全編講義

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	1 講義	経営、経営者とは	経営資源・経営計画・経営戦略とは何かを経営者の立場から分かりやすく講義	講義テーマを理解していること　到達度小テスト70%基準以上であること
		2 講義	美容業界の経営	美容界の現状についてをディーラー等からの話も交え講義	定義についての理解度を小テスト70%基準でチェック
	6月	2 講義	資金管理	経営において重要なお金についての考え方等を経営者経験から考察	お金についての考え方を 管理するという観点から 理解することを到達目標とする 到達度小テスト70%基準 以上であること
		2 講義	収益、損益とは	会計の考え方　コストを管理する方法論を講義	
		2 講義	税金について	税金の種類とその内容、支払うタイミング、罰則	
2学期	9月	1 講義	人という資源	人材についての考え方を経営者目線で考える方法で講義	人をどう見ているのかを社会的 いい力見ることを到達目標とする
		2 講義	給与、待遇、福利厚生	美容業界における未だ成熟していない問題について講義※実際にグループごとに各サロンの求人票をチェックしそれぞれのもつ特徴や違いを知る。	
	10月	1 講義	健康、安全な職場環境	従業員の健康と安全について法令との関係を講義	福利厚生の仕組みを学び 安心できる社会を考えられること を到達目標とする
		2 講義	社会保険	老後、事故、傷害等や暮らしに安心を確保するための考え方やそれに準じる公的制度について講義	
		1 講義	顧客が求める価値、多様性	ホスピタリティ、サービスの考え方をサロンでの実体験を交え講義	サービスを受ける側と する側両面からマーケットを 考えることを到達目標とする 到達度小テスト70%基準 以上であること
		1 講義	マーケティング	顧客満足度を中心とした講義にサロン実務経験を交える	
		1 講義	人の役割、接客について 接客の実践　トラブルと対応	接客の実践とトラブルについて※サロンで経験したリアルな体験も交え昨今多くなってきた現状への対応や対策を学ぶ。	
	11月	2 講義	総まとめ模擬テスト	25問のテスト実施	講義テーマを理解することで 運営管理が生活の中に 役立つことを知るということを 到達目標とする 到達度小テスト70%基準 以上であること

成績評価の方法と基準	期末試験100点満点で評価
教科書及び教材	・運営管理教科書(日本理容美容教育センター発行)　・ワークブック ・DVD(教育センター企画・制作)　・国家試験過去問題
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
美容実習 【必修科目】	20期2学年	400	上田　公美 【有り】	熊本市内のサロンにて6年の実務経験。 アパレル店勤務の経歴を持つ。ヘアケアマイスターインストラクター取得 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程修了
			森田　朋子 【有り】	サロン勤務14年の実務経験。現在も現役美容師として現場に立つ ヘアケアマイスター取得　マナー検定取得　アジアビューティコングレス受賞歴有 (公社)日本理容美容教育センター主催美容技術理論・美容実習　美容保健　研修課程修了
			井上　隆之 【有り】	美容歴18年　モアヘアメイクカレッジ勤務5年　現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習　衛生管理　運営管理　香粧品化学　研修課程修了

【授業概要】	美容技術理論に従い、実際の手技、姿勢を把握し、国家試験の課題のみだけではなく実際のサロン現場で即戦力となる技術を習得する。
【講義の目的】	美容師国家試験の合格レベルの技術、また就職後に即戦力となるような技術の習得。 国家試験合格

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4～8月	34 実習	ワインディング　基礎練習①	タイムトライアル　個別指導	ロッド構成の習得
		35 実習	オールウェーブ　基礎練習①	タイムトライアル　個別指導	定義についての理解度を小テスト 70%基準でチェック
		35 実習	ワインディング　基礎練習　②	タイムトライアル　個別指導	全頭20分目標
		35 実習	オールウェーブ　基礎練習②	タイムトライアル　個別指導	全頭25分目標
		30 実習	校内コンクールに向けて	ワインディング・オールウェーブ・カット・メイク・ネイルを完成させる	規定時間内に完成させることを 到達目標とする
		30 実習	カット①	レザーカットについて	基礎を理解することを 到達目標とする
		30 実習	カット②	レイヤーカットについて	基礎理論の理解を 到達目標とする
2学期	9～12月	65 実習	カット③	レイヤーカット基礎技術の実際	25分で仕上げることを 到達目標とする
		50 実習	ワインディング	構成と理論の再確認	ワインディング19分目標・オールウエーブ 24分目標を到達目標とする
		50 実習	オールウェーブ	構成と理論の再確認	
3学期	1月	5 実習	第1課題と第2課題	課題の通し練習	カット19分目標・ワインディング19分目 標・オールウエーブ24分目標を到達目標 とする

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%
教科書及び教材	・美容実習教科書(日本理容美容教育センター発行) ・実習道具一式
資格対応	美容師国家資格
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
接遇コミュニケーション 【選択科目】	20期2学年	20	上田　公美 【有り】	熊本市内のサロンにて6年の実務経験。 アパレル店勤務の経歴を持つ。ヘアケアマイスターインストラクター取得 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程修了
			森田　朋子 【有り】	サロン勤務16年の実務経験。現在も現役美容師として現場に立つ ヘアケアマイスター取得　マナー検定取得　アジアビューティコングレス受歴有 (公社)日本理容美容教育センター主催美容技術理論・美容実習　美容保健　研修課程修了以上の経験により社会生活における実践的コミュニケーションを理解させる

【授業概要】	現場で役立つ知識を修得し、社会人としてのマナー、コミュニケーションを学ぶ。 自立した社会人になるため自ら相応しい履歴書の書き方・面接の仕方の重要性を認識する。
【講義の目的】	求人側から学ぶことも多く取り入れ、面接時のコミュニケーシ能力をより高めること。

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	1 講義	就職するにあたって　社会人としてのマナー①	マナーやコミュニケーション力が社会生活においていかに重要かを美容室に勤務する経験を中心に講義する。	コミュニケーション力の重要性を理解できることが社会で役に立つということを到達目標とする
		1 演習	就職するにあたって　社会人としてのマナー②	実際に顧客行動パターン別シミュレーションを行う。	
		1 演習	就職するにあたって　社会人としてのマナー③	「サロンにおける求められる人材とは・・」について美容室経営経験教員による講話を交えてのディスカッション①	ディスカッション力を身に付けることが社会生活おいて重要なツールになるということを認識することを到達目標とする
		1 講義	求人と採用条件について①	サロン別求人票の見方について	重要ポイントの認識力向上させることを到達目標とする
		1 講義			
		1 演習	求人と採用条件について②	福利厚生の意味と必要性、成り立ちと現状①	社会生活においての福利厚生を知り今後の指針になることを到達目標とする
	5月	1 演習	求人と採用条件について③	福利厚生の意味と必要性、成り立ちと現状②	
		3 講義	履歴書について	履歴書作成と自己アピール（自己分析）	自己発信力を身に付けることで社会により深く関われるということを知るということを到達目標とする
		3 講義	面接について	教員の実務経験（サロン経営等）による面接の実際	
	6月	7 演習	総まとめ	就職内定後を想定したシミュレーションと質疑応答	講義内容を実践することで社会生活が安心できるということを到達目標とする

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価（評価課題10項目による減点方式）30%
教科書及び教材	ビューティーコーディネーター検定認定テキスト 3級
資格対応	ビューティーコーディネーター検定　3級
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
美容総合技術と 施術実習 【選択科目】	20期2学年	264	上田　公美 【有り】	熊本市内のサロンにて6年の実務経験。 アパレル店勤務の経歴を持つ。ヘアケアマイスターインストラクター取得 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習研修課程修了
			森田　朋子 【有り】	サロン勤務14年の実務経験。現在も現役美容師として現場に立つ ヘアケアマイスター取得　マナー検定取得　アジアビューティコングレス受賞歴有 (公社)日本理容美容教育センター主催美容技術理論・美容実習　美容保健　研修課程修了
			井上　隆之 【有り】	美容歴18年　モアヘアメイクカレッジ勤務5年　現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習　衛生管理　運営管理　香粧品化学　研修課程修了

【授業概要】	1年次を踏まえて主に作品作り、ヘアショー、コンテストに向けたデザインを取り入れて完成を磨く
【講義の目的】	サロンワークで不可欠な技術の理論習得及び基本技術の習得

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	5～8月	51 演習	カットコンクールに向けて	カットコンクールに向けて各ステージ、音楽、衣装他構成についてトータル的に作り上げる。多数のショー、ステージ経験からいろいろなアイデアを提案し作り上げる。	創造する力、合わせて表現力を身に付け社会人となり感性が 必要とされる多様な条件に対応できる基礎が身につくこと。 それにより社会生活が豊かに なるということを知る。 そのことを到達目標とする。
2学期	9～12月	65 演習	校内コンクールに向けて	外部各主催コンクールに参加す露ことを目標にする(スタイルブック作成、、ウィッグ製作、モデル製作までを構成を立てデモンストレーション実践練習を繰り返す。 多数のショー、ステージ経験からいろいろなアイデアを提案し作り上げる。	発想力や創造力、合わせて 表現力を身に付け社会人となり 感性が必要とされる多様な 条件に対応できる基礎が 身につくこと。 それにより社会生活が豊かになるということを知る。そのことを到達目標とする。
3学期	1月	76 演習	ワインディング、ウェーブ 、カット、個別指導 衛生面講義	衛生面他(実技　基礎練習　タイムトライアル)　個別指導　サロン経験から衛生管理の重要性について講義(いかかる場合も手指を清浄にすることなど) ワインディング、ウェーブ、カット、衛生面について個別指導を徹底する	衛生面の講義を中心に公衆衛生 での重要性を再確認すること と到達目標とする
	2月～3月	69 演習	国家試験学科 個別指導	国家試験学科に向けて個別指導を行う。 7科目の教科を個別で指導し、詳しく講義する。	学科の個別指導を行い、 苦手科目を克服することを 到達目標とする。

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%
教科書及び教材	配布プリント　各項目に美容用具一式
資格対応	
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
毛髪に基づく施術実習 【選択科目】	20期2学年	30	井上　隆之 【有り】	美容歴21年　モアヘアメイクカレッジ勤務10年　現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習　衛生管理　運営管理　香粧品化学　研修課程修了 以上の経歴により、教科書に元ずく授業はもとより、サロンの現場で昨今重要視される 安全性について「衛生管理」の基礎から応用までを指導できる。
			森田　朋子 【有り】	サロン勤務16年の実務経験。現在も現役美容師として現場に立つ ヘアケアマイスター取得　マナー検定取得　アジアビューティコングレス受賞歴有 (公社)日本理容美容教育センター主催美容技術理論・美容実習　美容保健　研修課程修了

【授業概要】	1年次の毛髪を踏まえてデザイン的なものを加えステップアップにつなげる
【講義の目的】	就職後に即戦力となる知識の習得 デザインカラーの習得
【授業計画】	

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	7月	3 演習	ストレートパーマ	理論～ウイグ練習　頭皮に付けない塗布の仕方	薬剤を安全に使用することを 到達目標とする。
		3 演習	パーマデザイン	基本巻き以外のデザインパーマ　ウイグ練習 ※実務経験からデザインのパターンの違いによる仕上がりを検証	定義についての理解度を小テスト 70%基準でチェック
		3 演習	ヘアセット	ヘアアレンジ～ショー用の特殊セット　相モデル　人毛実践 ※実務経験から人毛の注意点を理解させる	
2学期	9月	3 講義	デザインカラー	ブリーチオンカラー　理論	基本と応用が理解され、作品が サロンレベルに仕上がることを 到達目標とする。 作品評価 (評価課題10項目による減点方式)
		3 演習		ブリーチオンカラー　ウイグ練習※薬剤をモデルの顔に付けない工夫	
		6 演習		ブリーチオンカラー　相モデル　人毛実践 ※実務経験から頭皮トラブルの危険性を理解させる	
		6 実習		ブリーチオンカラーからデザインカラ―まで　作品作成	
	10月	3 実習		ブリーチオンカラーからデザインカラ―まで　作品作成	

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%
教科書及び教材	配布プリント　各項目に美容用具一式
資格対応	
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
ネイル 【選択科目】	20期2学年	60	黒木　貴美子 (外部講師) 【有り】	ネイリストとして17年の実務経験。 スクール講師の経験有り。 NPO法人　日本ネイリスト協会　認定講師取得 NPO法人　日本ネイリスト協会　本部認定講師

【授業概要】	ネイルの理論、基本技術を学ぶ。 検定取得に向けての知識、技術の習得。
【講義の目的】	ネイル検定取得。 就職後即戦力となれる知識の習得。

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	10 演習	JNEC　ネイリスト技能検定に向けて	検定対策・模擬試験　準備	規定タイムに入ること 作品評価 【評価課題10項目による限定方式】
	6月	3 講義	ジェルネイル試験に向けて	ジェルネイルの基礎知識 ジェルネイルの手順　テーブルセッティング　ジェルカラーリング ピーコックグラデーション	ジェルの基礎知識の習得
		3 講義	ジェルネイル試験に向けて	ジェルネイルの手順　テーブルセッティング　ジェルカラーリング ピーコックグラデーション	ジェルの基礎知識の習得 基礎技術の習得
		3 演習	ジェルネイル試験に向けて	検定対策【ジェル】	規定タイムに入ること作品評価 (評価課題10項目による減点方式)
		3 演習	ジェルネイル試験に向けて	検定対策【ジェル】	
		3 演習	ジェルネイル試験に向けて	検定対策【ジェル】	
		3 演習	ジェルネイル試験に向けて	検定対策【ジェル】	
	7月	6 演習	ジェルネイル試験に向けて	検定対策【ジェル】	
		6 演習	ジェルネイル試験に向けて	検定対策・模擬試験　準備	

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%
教科書及び教材	・ネイルテキスト　・ネイル検定教科書 ・ネイル道具一式　・DVD
資格対応	
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
ブライダル概要と実習 【選択科目】	20期2学年	15	東　いづみ 【有り】	ブライダリストとしてホテル日航熊本に4年勤務。 現在も現役ブライダリストとして現場に立つ。 日本化粧品検定1級取得。ヘアケアマイスター取得。 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習　香粧品研修課程修了

【授業概要】	ブライダルの専門知識・洋装のヘアメイク理論を学ぶ 実技の習得 選択による授業
【講義の目的】	現場での知識、技術を学び、技術練習を重ね就職後即戦力となれる知識を習得。

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	7月	3 演習	花嫁制作①	お色直し・撮影	小物、種類、名称を理解し覚えることを到達目標とする
		3 演習	花嫁制作②	お色直し(和装ブライダルメイク技術理論)和装から洋装へのクイックチェンジ	
		3 演習	着物の基礎知識	着物の基礎知識を理解し実践で落とし込めるようにする	完成度を高める、時間内に 仕上げることを到達目標とする 洋髪10分仕上げ等作品評価 (評価課題10項目 による減点方式)
		3 演習	授業での製作発表に向けて	実践製作(洋装ブライダルメイク技術、理論) お色直し実習(WD-CDへのチェンジ)	
		3 演習		実践製作、撮影モデルのイメージに合わせたヘアメイク実習	

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価(評価課題10項目による減点方式)30%
教科書及び教材	適宜インターネット映像　DVD　実用本
資格対応	
備考	

授業科目名 【選択】	対象学年	授業時数	担当教員 【実務経験の有無】	担当者経歴
サロンカット 【選択科目】	20期2学年	45	井上　隆之	美容歴21年　モアヘアメイクカレッジ勤務10年　現在も美容室勤務 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習　衛生管理　運営管理　香粧品化学　研修課程修了 以上の経歴により、教科書に元ずく授業はもとより、サロンの現場で昨今重要視される 安全性について「衛生管理」の基礎から応用までを指導できる。
			森田　朋子 【有り】	サロン勤務14年の実務経験を経てモア・ヘアメイクカレッジ教務につく 現在も現役美容師として現場に立つ。 ヘアケアマイスター取得　マナー検定取得　アジアビューティコングレス受賞歴有 (公社)日本理容美容教育センター主催 美容技術理論・美容実習　美容保健　研修課程修了

【授業概要】	基礎技術・サロンワークで使えるヘアスタイル理論の解説 実践に通用するテクニックの習得 選択による授業
【講義の目的】	基礎理論を基に知識技術を学び、就職後即戦力になる人材を育成する

【授業計画】

期間		時間数・ 授業形態	講義題目	講義内容	到達目標
1学期	4月	9 演習	基本姿勢	基本姿勢　シザー運行	基本を理解し正確にできること
	4月	6 演習	ワンレングスカット理論	カット理論・解説　デモンストレーション　実践練習　見極め　総評 ※実務経験からモデル一人一人の骨格や毛髪の違いによる見極め方を実践する ミスした場合のリカバー論等を理解し習得させる	定義についての理解度を小テスト 70%基準でチェック
	6月	9 演習	グラデーションカット理論		
		9 演習	マッシュボブ理論		
	7月	12 演習	サロンスタイル理論	TONI&GUICOLLECTIONスタイル理論・解説 デモンストレーション　実践練習　見極め　総評	

成績評価の方法と基準	技術評価70%　作品評価（評価課題10項目による減点方式）30%
教科書及び教材	カット用具一式　ウィッグ　TONI&GUYフューチャーファンデーションBOOK、DVD
資格対応	
備考	